

# 我が国の 留学生政策

平成18年12月5日(火)  
文部科学省学生支援課  
留学生交流室長  
池田輝司

1. 「留学生受入れ10万人計画」とその後
2. 留学生政策の現状と課題
3. 「外国人受入れ」の観点から

## 留学生交流の意義

諸外国との相互理解の増進  
と人的ネットワークの形成



安定した国際関係づくりの基盤  
留学生交流の本格的な発展

途上国等の人材育成・  
知的国際貢献



高等教育の機会共有  
人材育成の国際貢献の促進  
我が国の国際学生数の増大

(日本自身あるいは日本の  
大学等の)国際化や国際競  
争力の強化



国際的に活躍し、リーダーと成り得  
る日本人の育成  
国際化や競争力の強化を促し  
教育研究における国際的協力の  
促進を向上

【今後は、日本自身の国際化や国際競争力の強化にプラスになる  
かどうかを重視することが必要】

## 留学生受入れ10万人計画

昭和58年策定

21世紀初頭に10万人の留学生受入れを目指す

文部科学省では、本計画に基づき、渡日前から  
帰国後までの体系的な留学生受入れのための諸施  
策の充実に努力

その結果、平成15年(2003年)に留学生数は  
約11万人となり、目標の10万人を達成

## 新たな留学生政策の展開について(答申)

～中央教育審議会大学分科会留学生部会～

新たな留学生政策の基本的方向として

これまでの受入れ中心の留学生政策につ  
いて相互交流を重視し、受入れ・派遣の両面  
での一層の交流の推進

留学生の質の確保及び受入れ体制の充実

日本学生支援機構を中核とした留学生に  
対する施策の総合的実施

## 10万人計画達成後の基本方針

### 1 外国人留学生受入れの一層の推進

大学等の在学者に占める留学生の割合が欧米先進国並み  
の水準に近づくと、各大学の特色ある優秀な留学生受入れ  
の取り組みを支援。

### 2 外国人留学生受入れの質的充実

各大学の適切な入学者選抜、在籍管理等の取り組みの推  
進や、関係機関が連携した留学生受入れの質的充実に関ら  
れる取り組みの強化。

積極的に世界各国から優秀な留学生を日本に引き付けるこ  
とを考慮。

# 留学生交流の課題とその対応

## 留学生受入れ数の量的拡大

留学生は着実に増加し「留学生受入れ10万人計画」を達成したが、大学等の在学中に占める留学生の割合が欧米先進国並みの水準になるよう受入れを更に拡大していく必要がある。

### 【対応策】

我が国の大学が留学生にとってより魅力あるものとなることを目指した教育研究水準の一層の向上

海外における日本留学説明会の開催など留学情報の提供・相談体制の強化

私費外国人留学生に対する奨学金の充実

民間団体等による奨学金・・・奨学金を支給している地方公共団体等の数 23地方自治体、30自治体系国際交流団体(H16年度実績)  
 大学等による奨学金・・・奨学金を支給している大学等の数208校(H16年度実績)  
 民間団体による奨学金・・・奨学団体数150団体(H16年度実績)(うち、渡日前に奨学金を予約できる16団体を含む)

## 外国人留学生の質の一層の向上

・留学生の不法残留や犯罪が増加しており、また、大学が定員確保のための安易な受入れをする傾向がみられることから、勉学意欲に欠ける留学生を受け入れないようにすることが必要である。(平成17年1月の総務省による留学生の受入れに関する政策評価において、留学生の質の向上へ重点を移すことが必要である旨指摘)

・世界各国から優秀な留学生をより積極的に日本に引きつける必要がある。

### 【対応策】

平成17年1月、各大学に対して改めて通知を提出し、経済的基礎の確立を含む一層厳格な入学選抜の実施や、きめ細かい在留管理を行うよう指摘するとともに、文部科学省のほか地方入国管理庁にも大学等等について勧告するよう指導

留学を円滑に実施するため、国内外で(独)日本学生支援機構が実施する日本留学試験の更なる普及

成績基準の明確化など私費外国人留学生の選抜方法の改善(17年度から実施)

## 日本から海外への留学生数の拡大

・我が国の国際競争力の強化やグローバル化した社会で活躍できる人材を育成するという観点から、より多くの日本人学生が短期留学や学位取得を目指して海外留学を経験できるよう、国として支援をする必要がある。

### 【対応策】

海外の大学院等において学位取得や専門分野の研究をさせるための奨学金等を支給する「私費海外留学奨学金」、大学間交流協定等に基づき1年以内の短期間留学する学部・大学院生を支援する「短期留学給付制度(給付)」の充実

我が国から海外の大学・大学院への留学を希望する者に対する(独)日本学生支援機構の「日本学生支援機構奨学金貸付制度(貸付)」の充実

地方自治体による奨学金制度(13自治体)や民間団体による奨学金制度(33団体)もあり

このほか、外国政府や外国政府関係団体が、その国・地域の大学等へ留学する日本人を対象に奨学金事業を実施するものもある。(58奨学金)

## 帰国後のフォローアップの充実

・諸外国との精密な人的ネットワークを形成するという留学生交流の意義を高めるため、留学生が帰国した後についてのフォローアップの充実を図る必要がある。

### 【対応策】

(独)日本学生支援機構の行う帰国留学生に対する支援事業の充実

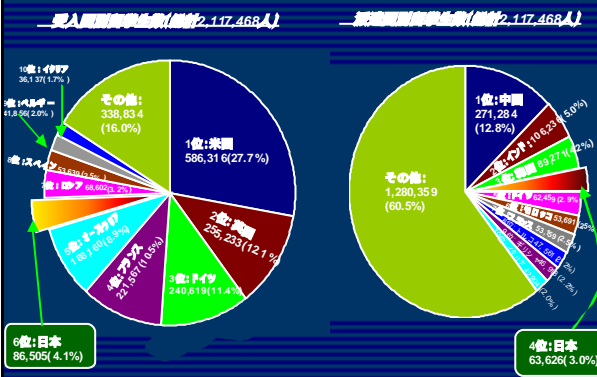
留学生名簿作成や個別同窓会結成、ホームページによる情報提供等を通じて各大学におけるフォローアップ事業の実施

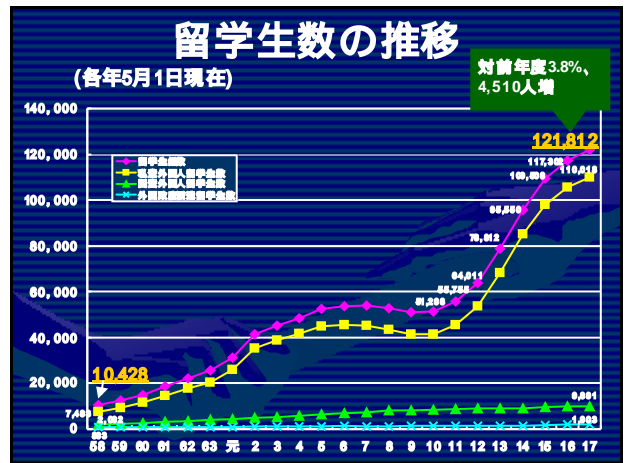
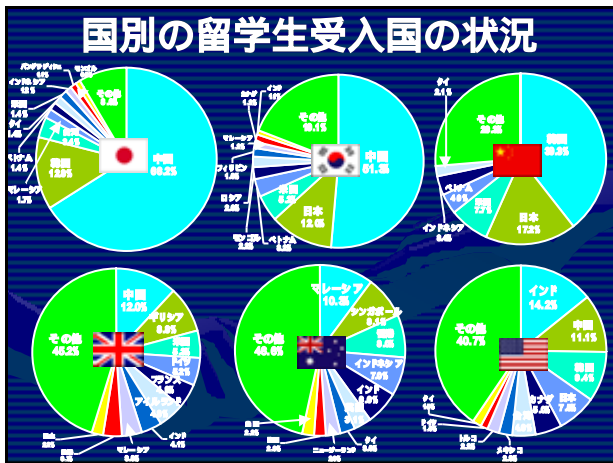
## 主要国の留学生受入れの状況

	アメリカ	英国	ドイツ	フランス	オーストラリア	日本
高等教育機関在学人数(千人)	9,010 (15,312)	1,386	1,799	2,175	929	3,656
留学生受入れ数(人)	565,039 (2004年)	325,760 (2005年)	246,136 (2005年)	245,298 (2005年)	151,798 (2004年)	121,812 (2005年)
私費外国人留学生数(人)	3,361 (2004年)	4,812 (2004年)	5,406 (2005年)	10,229 (2005年)	3,387 (2000年)	9,891 (2005年)
留学生占める高等教育機関在学人数(%)	6.3	23.5	13.6	11.2	16.3	3.3

留学生に占める留学生の割合が先進国に比べて低!

## 全世界の留学生数の状況(2003年OECD統計より)



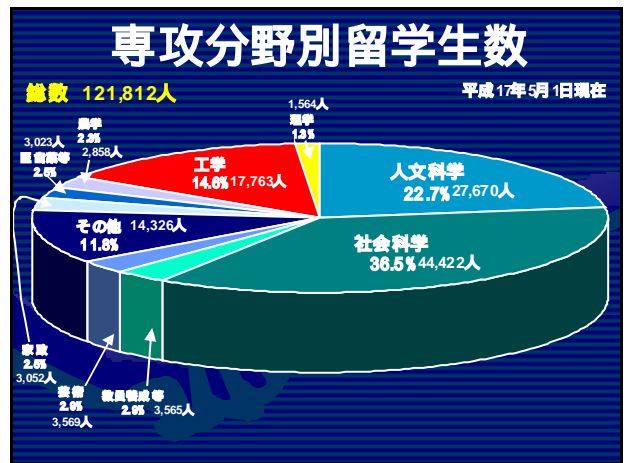
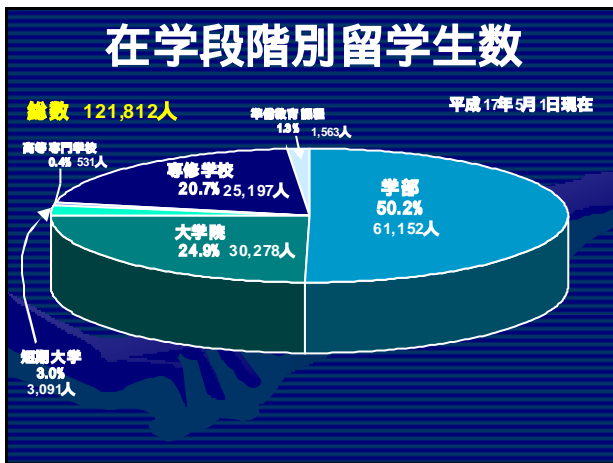


### 出身国・地域別留学生数

平成17年5月1日現在

国・地域名	留学生数	国・地域名	留学生数
中国	80,592	米国	1,646
韓国	15,606	インドネシア	1,488
台湾	4,134	ハンガリー	1,331
マレーシア	2,114	モンゴル	924
ベトナム	1,745	その他	10,498
タイ	1,734	合計	121,812

全体の八割以上を占める



# 大学別留学生数

平成17年5月1日現在

大学名	留学生数	大学名	留学生数
東京大学	2,111	神戸大学	963
早稲田大学	1,949	東京国際大学	883
立命館アジア太平洋大学	1,884	立命館大学	836
大塚国際大学	1,259	千葉大学	818
京産大	1,227	青森大学	808
京北大学	1,173	新潟県立大学	792
筑波大学	1,163	北海道大学	769
名古屋大学	1,150	広島大学	746
九州大学	1,103	福岡大学	736
日本大学	1,100	慶応義塾大学	724
拓殖大学	1,084	城西国際大学	640
国士堂大学	1,071	秀明大学	625
大蔵大学	1,029	東京外国語大学	622
富田国際大学	1,026	中央大学	617
東京工業大学	982	上武大学	612

# 平成16年度に卒業(修了)した外国人留学生の進路状況

進路	留中継続		海外進出(帰国)				国内進出(留中継続)				その他		不明	卒業(修了)留学生総数	
	留中継続		帰国		留中継続		留中継続		その他						
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%					
大学院等	11.0	1.1	21.9	2.1	3.1	0.3	2.1	0.2	1.1	0.1	1.1	0.1	1.1	0.1	1.1
大学等	1.4	0.1	1.0	0.1	0.6	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	1.0
大学院	0.7	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
大学院等	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1
専門学校等	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1
専門学校等	1.0	0.1	1.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	1.0
その他	1.0	0.1	0.1	0.0	1.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	1.0

# 平成16年度に卒業(修了)した外国人留学生の学位取得状況

区分	修士課程			博士課程			
	入学人数(a) (人)	学位取得人数(b) (人)	b/a (%)	入学人数(a) (人)	学位取得人数(b) (人)	学位取得人数(c) (内職)(人)	b/a (%)
人文	724	529	73.1	208	45	16	21.6
社会	2,566	1,928	75.1	411	133	29	32.4
理学	208	119	57.2	204	87	14	42.6
工学	1,108	871	78.6	741	344	40	46.4
農学	366	320	87.4	344	228	17	66.3
獣医	120	97	80.8	523	417	44	79.7
教育	525	432	82.3	47	15	2	31.9
芸術	134	118	88.1	38	14	0	36.8
医療	33	32	97.0	9	3	0	33.3
その他	814	509	62.5	595	192	26	32.3
合計	6,598	4,955	75.1	3,120	1,478	188	47.4

注) 入学人数・・・修士課程は平成15年度入学人数、博士課程は平成14年度入学人数(内職は平成15年度)  
学位取得人数・・・学位は平成16年4月から平成17年3月(修士課程は平成16年度)  
「その他」には、入学時に専攻分野が指定していない場合を含む。

# 平成19年度留学生交流関係予算概算要求

平成19年度要求額 441億円(うちODA 393億円)  
(平成18年度予算額 413億円(うちODA 369億円))

- 1 国費外国人留学生受入れの充実 248億円(227億円)  
受入れ 11,783人 12,554人(771人増)  
月給奨学金 4,134,000円、大学費172,000円  
うち、国費(国際交流基金プログラム 創設)1,700円、700円
- 2 私費外国人留学生等への援助 136億円(131億円)  
(1)私費外国人留学生等学費奨励費 83億円(80億円)  
・大学・専門学校等 11,350人 11,550人(200人増)  
・日本振興教育機関 650人 850人(200人増)
- (2)授業料減免学校法人援助 35億円(33億円)  
(3)短期留学推進制度 18億円(18億円)  
・受入 1,600人 1,760人(160人増)

# 3 日本人学生の海外留学の支援 10億円(8億円)

- (1)長期海外留学支援 5億円(3億円)  
・派遣 120人 186人(66人増)
- (2)短期留学推進制度 5億円(5億円)  
・派遣 665人 720人(55人増)

この他に、  
奨学金費と制度(有利子)による海外留学の支援 37億円(34億円)  
・費と人員 3,132人 3,461人(329人増)

# 4 留学生に対する教育・研究指導の支援等 47億円(46億円)

- (1)地域における留学生交流の推進
- (2)大学等における留学生への教育・研究指導の支援 等